資料－1

市民ワークショップについて

1．北杜市の将来の姿を実現するために

○平成25年度までに中部横断自動車道を見据えた北杜市の将来の姿を整理し、実現するために、今年度から具体的な話し合いをしています。
○将来の姿を実現するためには、「みなさんにとって身近なもの」、「北杜市が真摯に取り組まなければいけないもの」、「みなさんが自分たちでやること」をまとめることが必要です。
○まとめたことを、北杜市やみなさんと協力して一緒に実行することで、将来の姿を実現するものとします。

北杜市の将来の姿を実現するために

＜平成26年度＞　現在取組中

『道路プラン』
・みなさんにとって身近なこととなるもの
・中部横断自動車道への整備にあたって注意して欲しいことをまとめます。

現在取り組んでいる内容

＜平成27年度以降＞取組予定

『市民の取組プラン』
・みなさんたちが自分でやること
・中部横断自動車道を活用するために、皆さんたちが自分でやることをまとめます。

＜参　考＞

北杜市まちづくりビジョン（以下、「まちづくりビジョン」）は、既定計画である「北杜市まちづくり計画」を踏まえ、中部横断自動車道の整備を見据え、沿線地域の将来像を明らかにし、北杜市の恵まれた地域特性を踏まえながら、地域の活性化に結びつける取組や方策等を、地域住民自らが主体的かつ計画的に推進するための指針となるものです。
黒文字：平成25年度までにとりまとめられた「北杜市まちづくりビジョン」　青文字：平成26年度以降に取り組む事項

出典：中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン（p1より抜粋）　平成26年3月　北杜市中部横断自動車道活用検討委員会

２．ワークショップの目的

「北杜市まちづくりビジョン」（北杜市の将来の姿）の具体的な取組となる『道路プラン』は、みなさんにとって身近なことであるとともに、北杜市がまじめに取り組まなければならないことであり、『市民の取組プラン』は、みなさんが主人公となって実行することであることから、これらに対して興味のある方や、北杜市を良くしたいという思いをもつみなさんの参加が可能となるワークショップ形式で実施することとしました。

3．ワークショップとは？

【ワークショップとは？】

・色々な人が、話題についてグループで話し合いをします。
・話し合った後に、グループ毎に意見を整理して発表してもらいます。
・グループの意見をファシリテータが整理し、意見をまとめます。
・ファシリテーターとは、みなさんの話し合いがうまく進むように、進行のお手伝いをする人です。

写真ー関係者ワークショップ

3．北杜市中部横断自動車道活用検討委員会・ワークショップの関係

北杜市中部横断自動車道活用検討委員会

・ワークショップのやり方について話し合います。
・ワークショップから提案された道路プラン、市民の取組プラン等の意見（結論）について確認し、話し合い、足りないもの補います。
・話し合った結果を北杜市長に報告します。

〇主に話し合うこと
・ワークショップの進め方
・ワークショップの回数
・ワークショップの話題
・ワークショップで話し合った結果の審査　等

話し合ったことを伝えます。

話し合ったことを伝えます。

ワークショップ

専門性・実効性

関係者ワークショップ
（応募して選ばれた方）

・産業、観光などの専門知識を持った方がアイデアを出します。
・今後の北杜市の産業・活動を担う人達が、責任を持って考えを述べます。

一般性

市民ワークショップ
（北杜市民の中からランダムに選ばれた方）

・関係者ワークショップで出された様々な意見や対応案などについて一般的な立場としての市民が議論し、考えを述べ、補足や追加意見を述べる。
・ワークショップとしての意見をよりよくするために実施

※：関係者ワークショップ、市民ワークショップは平等な関係にあります。

話し合ったことを広めます
（広報「ほくと」、回覧、ハガキ、ホームページ等）

話し合った結果を伝えます

話し合った結果について意見を出します

北杜市のみなさん

4．ワークショップで話あって頂く話題

本日の話題

第一段階　条件の整理から道路プラン（道路を造る時に気をつけて欲しいこと）まで

基本事項

●検討する上で知っておいて頂きたい基本的な話をします。
中部横断自動車道とは　中部横断道活用検討委員会　（まちづくりビジョン・道路プランとは）

地域状況

●北杜市の将来の姿

●地域の産業・生活
観光、農業、商業、救急医療、防災　他

●地域の資源
文化財、神社仏閣　自然環境　景観（北杜24景、里山景観）　他

道路プラン

●道路の通る位置や、道路の造り方
道路を造る時に気をつけて欲しいこと
（避けて欲しいもの、大切さ）

●車が出入りする場所
高速道路との車の出入りする場所について気をつけて欲しいこと

●道路の造り方など
道路の造り方（土で造る・橋・ﾄﾝﾈﾙなど）、道路に付属する物（たとえば、照明、ガードレールなど）について気をつけて欲しいこと

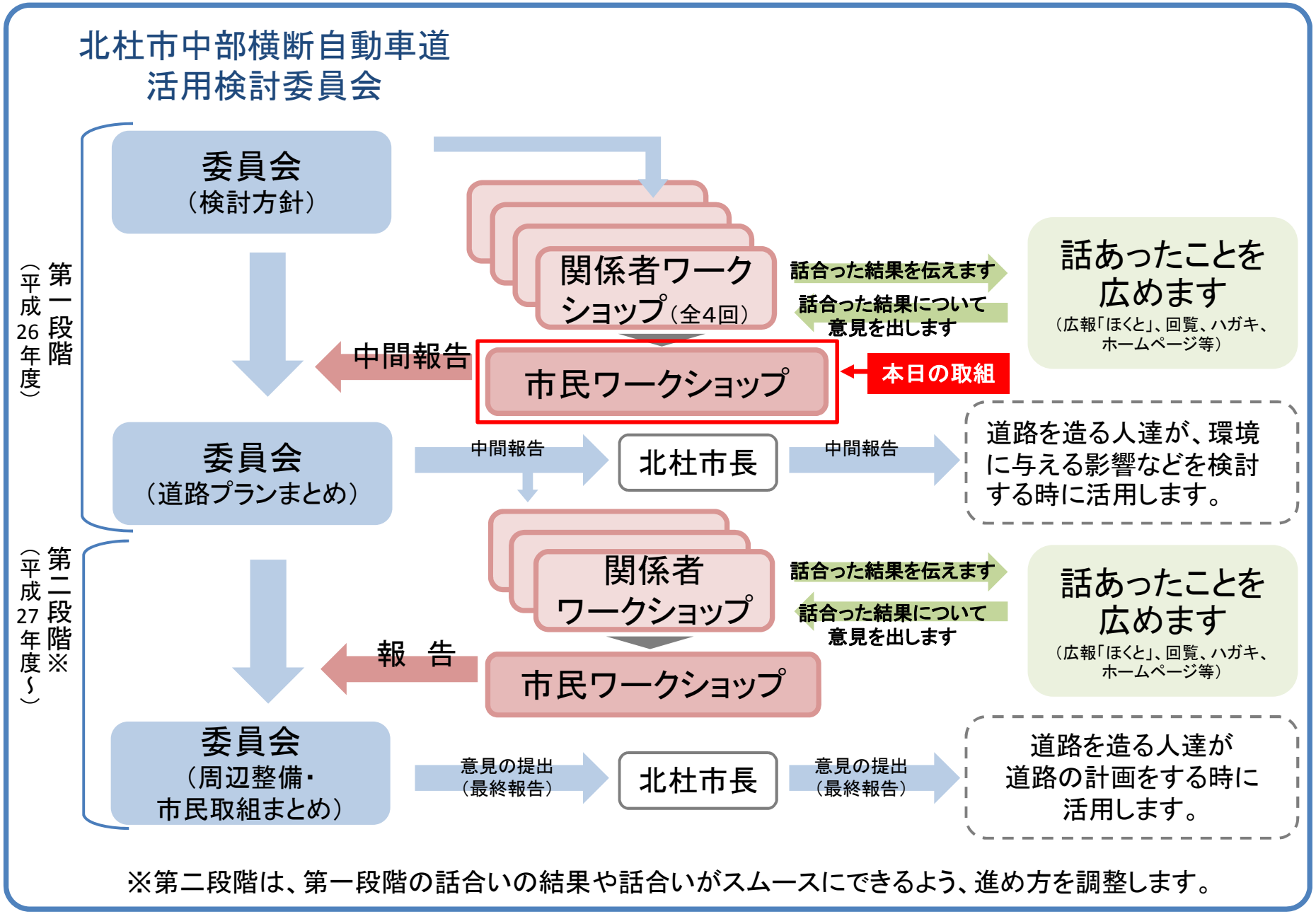
第二段階　道路の周りの計画と皆さんの活動（皆さんが取り組む計画）

市民の取組プラン

●道路の周辺施設の在り方
・道の駅、産業施設や観光施設の効果的な活用方法　　・アクセス道路や他の公共交通との連携

●道路を活かす市民の取組
・地域活性化に向けて、市民・関連団体が取り組むべきこと（農業・観光等）

5. 委員会とワークショップの手順



※第二段階は、第一段階の話合いの結果や話合いがスムースにできるよう、進め方を調整します。